

納税通知書用封筒に
広告を掲載しませんか



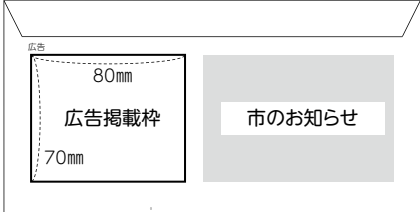
【対象者】 民間事業者・公共的団体
【掲載箇所】 封筒の裏面
【募集枠】 各封筒につき1枠
【募集する封筒の種類と広告掲載料】

名 称		
発送時期	発送数(予定)	掲載料
市民税・県民税・森林環境税 納税通知書用封筒		
令和9年 6月中旬	約 20,000 通	2万円

軽自動車税納税通知書用封筒		
令和9年 5月上旬	約 32,000 通	3万円

固定資産税納税通知書用封筒		
令和9年 4月上旬	約 46,000 通	5万円

【広告の規格】
大きさは縦 70mm×横 80mm、色は
単色、広告主の名称と連絡先を明記し
たもの（原稿は eps 形式）



広告掲載イメージ
【申込方法・掲載の決定方法】
詳しくは、市ホームページをご覧ください。
【申込期間】
10月29日(木)～11月12日(木)
申・問 課税課
☎ 22-9614 FAX 22-9618

10月29日は
世界脳卒中デー



「世界脳卒中デー」に合わせて伊賀上野城をブルーにライトアップします。脳卒中は予防が可能で、発症後1分でも早く専門的治療を開始することで後遺症を軽減できます。脳卒中の危険因子には、高血圧や糖尿病、高脂血症や運動不足、喫煙などが挙げられます。この機会に生活習慣を見直していませんか。
問 健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

文字や手話で社会生活での
コミュニケーションを支援します



◆本庁舎窓口での手話通訳者の設置
各種申請や相談などの手続きの際に手話通訳が必要な人は、下記窓口へ申し出てください。
【手話通訳者を設置している日時】
火・木曜日（午前9時～午後4時）
※変更する場合もありますので、詳しくはお問い合わせください。

◆要約筆記奉仕員・手話通訳者派遣
【対象者】
市内在住で、聴覚障がい、音声・言語機能障がいの手帳を持ち、社会生活において必要不可欠な用務に意思を伝えるための仲介者がいない人
※難病患者で同等の障がいがあると認められる場合、派遣対象となることがあります。詳しくはお問い合わせください。
【派遣地域】 原則市内
※派遣料は無料ですが、派遣先の施設で駐車料金などが必要な場合は、依頼者で負担してください。

要約筆記奉仕員



手話通訳者



申・問 障がい福祉課

☎ 22-9656 FAX 22-9662

ピンクリボン
キャンペーン



乳がんの早期発見には、がん検診の受診と定期的な自己触診*が大切です。ピンクリボンキャンペーンでは、乳がんの基礎知識や自己触診についてお知らせします。各施設をご利用の際には、ぜひご覧ください。
*自分で乳房にしこりがないか触って確認する方法

【と き】
10月1日(木)～30日(金)
【ところ】
○ハイトピア伊賀2階・4階
○各子育て支援センター
○本庁舎2階（こどもの育ち支援課）
【内 容】
○乳がんに関するポスター掲示
○ポケットティッシュ配布による啓発
問 健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

自動通話録音装置を
無料で貸し出します



高齢者を狙った特殊詐欺被害を未然に防止するため、自動通話録音装置*を無料で貸し出します。特殊詐欺の犯人は、自分の声や通話内容など証拠となる音声が残ることを嫌うため、この装置を設置することで犯行を断念させる効果が期待できます。
*自動通話録音装置とは、電話回線と固定電話機の間に接続するだけで、電話着信時に発信側（相手）に対して警告メッセージを流し、通話中の音声を自動で録音する装置です。
【対象者】 市内に居住し、次のいずれかに当てはまる世帯の人
○65歳以上のひとり暮らしの世帯またはこれに準ずる世帯
○その他、市長が必要と認める世帯
【申込方法】
下記窓口で申請書を記入
※家族や関係者による代理申請も可能です。
※申請には、本人確認書類を持参してください。代理申請する場合は、代理申請者の本人確認書類もあわせてご用意ください。

問 くらし安全課
☎ 22-9638 FAX 22-9641

「伊賀市ごみ分別アプリ」



お住まいの地区のごみ収集日、分別区分や出し方などが確認できます。

問 さくらリサイクルセンター

☎ 20-9272 FAX 20-2575

ふるさと応援寄附金
返礼品協力事業者を募集しています

ふるさと納税
魔びのこころをづくり



問 産業政策課

☎ 22-9669 FAX 22-9695
✉ furusato@city.iga.lg.jp

市民意見（パブリック
コメント）を募集します



◆第3期伊賀城和定住自立圏(伊賀市・名張市・笠置町・南山城村・山添村)共生ビジョン（中間案）
伊賀・山城南・東和定住自立圏では、令和9～13年度までを計画期間とする第3期共生ビジョンの中間案について意見を募集します。
【閲覧場所】 ○市ホームページ
○本庁舎1階ロビー
○本庁舎4階未来政策課
○各支所
○各地区市民センター
○笠置町希望のまち推進課
○南山城村企画政策課
○山添村総務課
○名張市総合企画政策室
【提出方法】 ウェブフォームまたはご意見記入用紙に、氏名・住所・電話番号・「該当ページ・該当箇所」ウェブフォームとそれに対する「意見内容」を記入し、下記まで。持参の場合は、各支所、各市町村窓口でも受け付けます。
※提出いただいた意見は検討資料とし、市ホームページで公表します。
※個別の回答は行わず、いただいた意見は返却しません。

【提出期限】
10月30日(金) ※必着
申・問 未来政策課
☎ 22-9620 FAX 22-9672
✉ miraiseisaku@city.iga.lg.jp

「伊賀市くらしのガイドブック」を更新します



市では、㈱サイネックスとの官民協働事業として、行政情報や地域情報など市民の皆さんの暮らしに役立つ情報をまとめた冊子「伊賀市くらしのガイドブック」の改訂版を発行します。この冊子は、令和9年2月末までに市内全戸へ配布予定です。
広告掲載を希望する人は、下記までお問い合わせください。

問 〇広告掲載について
㈱サイネックス 三重支店
☎ 0598-23-9220
〇冊子について
秘書広報課
☎ 22-9636 FAX 24-7900

三重大学医学部医学科
学校推薦型選抜地域枠
Bの市長推薦



三重大学医学部医学科の令和9年度入学者選抜にあたり、地域医療を担う医師にふさわしい優れた能力・倫理観・責任感を有する志願者を推薦します。
【推薦要件】
次の要件をすべて満たす人
○三重大学の各推薦枠共通要件を満たすこと
○現に出願予定者を扶養する扶養義務者が市内に3年以上居住していること
○学校長の推薦を受けること
○卒業後、市の地域医療に貢献することを確約できること
○卒業後、指定する診療科（内科、外科、救急科、総合診療科）へ従事することを確約できること
【推薦枠】 2人以内
【選考方法】 面接
【面接日】 11月20日(金)
【申込方法】 必要書類を学校を通じて持参または郵送で下記まで
【申込期間】
10月1日(木)～23日(金) ※必着
※提出書類などの詳細は、お問い合わせいただくか、市ホームページ・三重大学学校推薦型選抜学生募集要項をご覧ください。

申・問 医療福祉政策課
☎ 22-9705 FAX 22-9673

宝くじの収益金の
社会貢献



ハロウィンジャンボ宝くじ（市町村振興宝くじ）の収益金は、市町が行う防災対策や、道路、公園、文化施設、福祉施設の整備、地域医療の充実支援など、よりよいまちづくりのために使われます。

ハロウィンジャンボ4億円
(1等2億円・前後賞各1億円合わせて)
ハロウィンジャンボミニ4千万円
(1等2千万円・前後賞各1千万円合わせて)
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。



各1枚 300円
発売期間 9/16(水)～10/16(金)
公益財団法人三重県市町村振興協会

問 (公財)三重県市町村振興協会
☎ 059-225-2138

起業・経営革新促進事業
補助金（第4期募集）



地域経済を維持・発展させるため、起業する人や経営革新を行う人に対して、その経費の一部を補助します。申請書類と審査会（11/26 予定）により採択者を決定します。
【対象事業】
①起業支援事業：
市内にある空き家・空き店舗を利用し、新たな事業を創出する取り組み
②経営革新支援事業：
新商品の開発・新市場の開拓・生産性向上などの、既存事業の経営革新を行う取り組み
【対象者】
①個人または法人
②市内に事業所などがある個人または法人
※上記以外に要件があります。詳細は募集要項をご確認ください。

【補助金額】 改修費・付帯設備費および広告宣伝や商品開発などに要する経費の2分の1以内
①20～150万円
②20～50万円
【申込方法】 申請書に必要事項を記入し、必要書類を添付の上、下記まで
※申請書や募集要項などは市ホームページからダウンロードできます。
【申込期限】
11月12日(木) 午後4時必着
申・問 産業政策課
☎ 22-9669 FAX 22-9695
✉ sangyou@city.iga.lg.jp

伊賀市でくらす
外国人のための
生活ガイドブック

市役所での手続きや
生活情報が書いてあります。



問 多文化共生課
☎ 22-9702

